

令和3年度(繰越事業) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証

(単位:円)

計画書 No	補助 ・ 単 独	交付対象 事業の名称	款項目	事業名	担当課	計画申請書の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費	国庫 補助額	交付金 充当額	その他	実施状況	事業実施による効果(評価)				
38	単	緑水園管理維持体制持続化事業	5-1-4-9 5-1-7-1-1	バンガロー管理事業 緑水園管理事業	産業課	①環境省から町全体を「重要な里地・里山」に指定されている当町が唯一有する保養宿泊施設「緑水園」。コロナ禍において、大きな経済的損失を受けているが、今後、都会から田舎への人の流れを見込んだ環境整備を行い、誘客促進を図ることを目的とする。 ②新たな生活様式を組み入れた施設改修、誘客促進のためのHP改修 ③施設改修14,800千円、HP改修1,485,000円、 ④指定管理施設 緑水園	R2.12	R3.11	16,285,000		16,285,000		ホームページ改修・制作 バンガロー改修後の利用(宿泊) 全体314名、うち、2番館利用83名 平均20%の利用率。他棟全体より利用率高い	ホームページ・建物のリノベーションを契機とした施設の利用増進を図り周辺施設一体の活性化をすることができた。				
43	単	光ファイバ整備事業	2-1-14-8	光ファイバ整備事業	デジタル推進課	①新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、オンライン学習やテレワークなど新たな日常に必要な情報通信基盤を整備する。また、在宅の機会が増え、災害時等の安定的な情報伝達を確保するためケーブルテレビネットワークの光化及び送信設備等を整備する。 ②光ファイバの整備費用 その他財源は補助金 ③基本設計2,970,000円、施工監理費2,927,454円、伝送路整備費417,506,617円、旅費198,300円、報償費2,700円、電柱調査費44,000円 ④地方公共団体	R3.2	R4.3	327,243,700		100,000,000	227,243,700	町全域の幹線とそれに付随する法勝寺・天萬SHE(中継局)を設置完了した。 このことにより、今後引込工事が可能となる。	新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、在宅によるオンライン学習やテレワークなど、新たな生活様式を推奨するとともに、教育ICT環境整備や災害時等の安定的な情報伝達を確保するため、通信情報基盤を整備することができた。				
94	補	学校保健特別対策事業費補助金	9-1-2-29	学校保健特別対策事業	総務・学校教育課	①各学校が、感染症対策を徹底しながら学校教育活動を円滑に運営できるようにする。 ②感染症対策のための物品購入 ③水道レバー式交換:528円×285+1,408円×61=236,368円、オートクレーブ:429,000円、非接触型体温計:10,450円×14台=146,300円、非接触型検温・消毒機:33,000円×2台=66,000円、空気清浄機:97,900円×2台+41,800円×1台=237,600円、加湿器:18,880円×25台=472,000円、保健室間仕切り:132,000円、大型ディスプレイ(画像転送機付き):168,080円×4台=672,320円、換気扇:80,000円×5台=400,000円、オートディスプレイ 11,770円×6台+5,300円×10台=123,620円、消毒用スプレーボトル・マスク等:124,928円、テント:144,364円×1個=144,364円、長椅子:71,500円×2個=143,000円、空調(4箇所):228,800円+143,000円+451,000円+249,700円=1,072,500円 合計4,400,000円 ④小学校・中学校	R3.2	R3.8	3,875,048	1,933,000	1,933,000	9,048	空調 3箇所 換気扇 5台 空気清浄機 3台 大型ディスプレイ 4台 加湿器 25台 オートクレーブ 1台 フロアシート 1枚 非接触型体温計 14台	新型コロナウイルス感染症対策を強化することにより、感染拡大のリスクを最小限とするとともに、児童生徒の安心安全な学校生活や学習環境が継続的に確保され、地域住民や保護者から信頼される学校づくりを展開することができた。				
96	補	無線システム普及支援事業費等補助金	2-1-14-8	光ファイバ整備事業	デジタル推進課	①新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、オンライン学習やテレワークなど新たな日常に必要な情報通信基盤を整備する。 ②光ファイバの整備費用 ③施工監理費3,032,346円、伝送路整備費431,397,652円 ④地方公共団体	R3.2	R4.3	358,515,000	176,786,000	141,429,000	40,300,000	町全域の幹線とそれに付随する法勝寺・天萬SHE(中継局)を設置完了した。 このことにより、今後引込工事が可能となる。	新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、在宅によるオンライン学習やテレワークなど、新たな生活様式を推奨するとともに、教育ICT環境整備や災害時等の安定的な情報伝達を確保するため、通信情報基盤を整備することができた。				
98	単	地域とつながる未来ラボ支援事業	2-1-9-45	地域とつながる未来ラボ支援事業	デジタル推進課	①R7の自治体情報システム標準化も見越し、移動通信機能を実践し、車内を可変できるマルチタスク型のワゴン車で地域出向きサービスを提供するとともに、デジタル社会の有効性をご理解いただく。コロナ禍における外出控え、デジタル化の急進の中において、役場に赴くことなく行政手続きのオンライン申請、マイナンバー申請、医療・介護・福祉相談等を行うことを可能とする。本事業は特に交通弱者からのニーズが高いことも想定されるため、車内において行うサービスを車いすを使用している高齢者が使用可能とするためにリフトも搭載する。また、デジタル社会の有効性とは、スマートフォンを活用したアプリの利便性などをアナログ世代と言われる高齢者等に理解いただき、デジタル化の波に乗り遅れないよう理解を図るものです。 ②車両購入、各種システム整備。 ③車両購入及び追加架装(車いすリフトほか) 8,852千円、映像コミュニケーションシステム 4,893千円、ノートパソコン、プリンタ、ネットワーク回線 1,220千円、通信等ランニングコスト 1,240千円、燃料費 50千円 ④町民	R3.2	R4.3	15,479,522		7,979,522	7,500,000	7,500,000	7,500,000	7,500,000	7,500,000	架装車両購入・整備 1台	コネクテッドカーの導入により、今後は「スマホ教室」、「確定申告電子申請支援」、「へき地巡回診療」、「災害避難所派遣」等、幅広く活用を検討するとともにコネクテッドカーに対する町民への認知度を向上させ、ニーズに応じて提供するサービスの検討を行う。